



2021年6月7日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 榎 沢 徹  
(JASDAQ・コード6838)  
問合せ先 経営企画部 田 中 竜 太  
電話番号 03-6435-6933

## 5G高度化研究におけるミリ波無線基地局、端末の採用に関するお知らせ

当社子会社である株式会社多摩川電子（以下、「多摩川電子」といいます）は、第5世代移動通信システム（5G）を初め、無線通信分野で需要が高まる、ミリ波製品の開発、設備投資、及び受注強化に努めてまいりました。

その成果として、開発したミリ波無線基地局と端末のハードウェアが、国が推進する次世代の無線通信研究開発プロジェクトに参画する企業により、主要な実験機器として採用されたことをご知らせいたします。

### 記

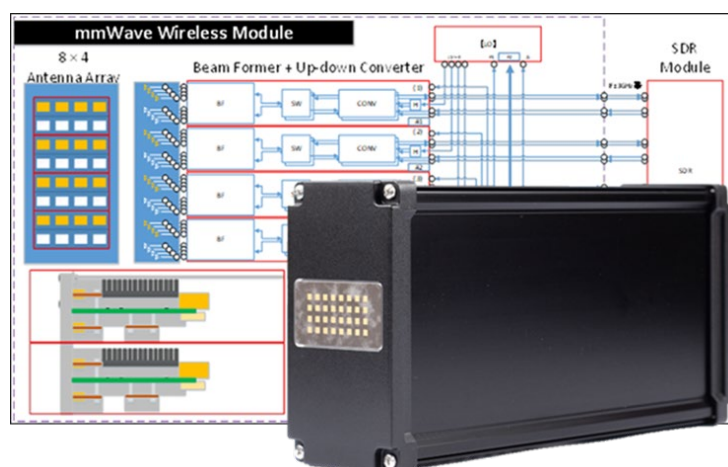
#### 1. 概要

本研究開発は、我が国でもサービスが開始された5Gのさらなる高度化と、各国で研究開発が進められている次世代無線通信 Beyond 5G、6G等ますます増大する新たな電波利用ニーズに対応するため、周波数の効率的な利用や、ミリ波帯における安定的な無線ネットワークを実現するため、令和元年度から研究開発が進められ、多摩川電子も参画してまいりました。

#### 2. 多摩川電子製品について

採用されたミリ波無線基地局と端末のハードウェアは、当社開発品である『mmWave Wireless Module』をベースとすることにより、ミリ波（28GHz）帯において次世代基地局に求められる、多素子アンテナやビームフォーミング機能を有する多チャンネル送受信機能を小型高集積のハードウェアで実現しています。

本製品により、次世代通信の多様なサービスに応じた、高信頼かつ高度な無線ネットワーク制御技術の研究開発や、基地局-端末間の超低遅延かつ安定的な多数同時接続を実現するための通信技術評価、実証実験が実施されることとなります。



### 3. 今後の取組みについて

多摩川電子が開発した『 mmWave Wireless Module 』は、本件のような無線技術の先端研究開発用途以外にも、ローカル 5G エリア設計に必要な電波可視化用途や、ますます需要が高まるミリ波帯を利用した無線通信分野において広く使用されることを想定した汎用的な製品となります。

今後は本製品の拡販活動を積極的に行い、IoT 社会における新たな市場開拓、及び既存分野での更なる業績の拡大を目指します。

### 4. 今後の見通しについて

尚、本件による、当期における当社グループへの業績に与える影響はありません。

来期以降の業績に対する影響は判明次第、開示いたします。

以 上